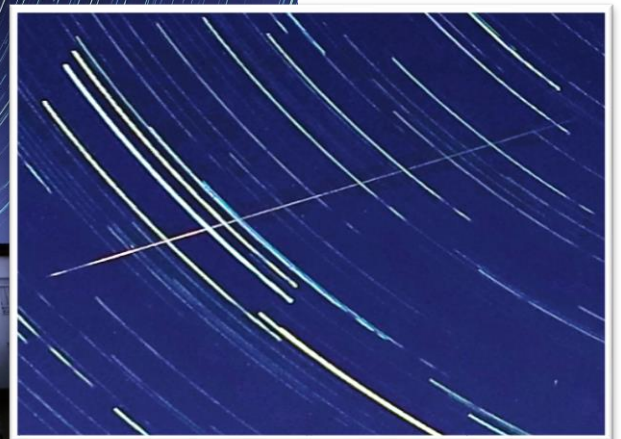


令和2年8月13日に見られた、ペルセウス座流星群の一部です。明治小学校上空でどれだけ観察できるか、比較的明るい夜空でしたが、撮影にチャレンジしてみました。流星というのは、彗星が残した宇宙に漂う塵に、地球が高速で突っ込み、大気との摩擦で発光する現象です。ペルセウス座流星群は、1992年に太陽に接近したスウィフト・タートル彗星のたくさんの塵が、地球の大気とぶつかり合って見ることができます。北東のペルセウス座付近を中心に放射状に流れる流星が多く見られるため、このように呼ばれています。前日12日が極大と予想されていたため、思ったより流れなかったのですが、カメラを向けた範囲外の夜空や、全く逆の方向に相当明るい流星を数個、観察することができました。写真に収められず残念でしたが、今回は1時間で小さな流星を撮影することができましたので、ご覧ください。明治地区は夜空も相当美しいです。

明治小学校北天で見られた ペルセウス座流星群



20秒×180枚
=3600秒を比較明合成し、1枚にした写真です。つまり、1時間の星の動きを見ていることになります。



左の写真は、明治小のグラウンドから見た夏の三大角です。上から白鳥座のデネブ、右下こと座のベガ、左下わし座のアルタイルです。（4年生の理科で学習します）中央縦に銀河が見えるはずなのですが、明るい夜空で写しきれませんでした。10分ほど星が流れる様子です。流星は残念ながら写りませんでしたが、これだけの星々を観察することができる環境が、明治地区にはあります。時々、夜空に目を向け、宇宙の無限の広がりをご家族で感じることもいいかもしれませんね。